

◆おもしろいのある県政を “ふるさとちば”のための政策推進を◆

うすい正一県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

市民の声を県政に生かします

千葉市美浜区特集 12月県議会一般質問



12月県議会一般質問に登壇する自井正一県議

子育て支援や私学助成の充実を提言

躍進する政令都市・千葉市美浜区から28歳の若さで初当選した自井正一県議は、支持を受けた市民の声を県政で生かすため、識見高いニューリーダーとして都市問題など県政改革に尽力しています。12月県議会では一般質問に登壇、「私学助成」で、預かり保育や子育て支援、私立高校助成の拡充、各種学校の補助金引き上げなど県民の生活視点で県側の姿勢を質し政策要望をしました。また、花見川護岸整備、千葉市内の企業庁の土地分譲、黒砂水路の悪臭対策など市民の要望を受け止めた政策を訴えました。

自井 次世代育成を、千葉の改革三本柱の一つとまで言うのなら、平成18年度の私学助成については、せめて全国平均に近づけるべきと思うがどうか。
知事 県の財政にゆとりがあれば、全国平均を上回ります。ですが、できずには一杯努力しています。今後3年間で財

源対策を行っても、なお400億円以上の財源不足が見込まれます。その中で許される最大限の努力をしていきたい。現時点では来年度の地方財政計画なども示されておらず、収支を明確にできないことから、私学助成をどうするのか具体的に申し上げることが出来ません。示

された段階までお待ちいただきたい。
預かり保育の予算支援を
自井 預かり保育や子育て支援活動を実施する幼稚園を積極的に支援するとしていますが、平成18年度ではどういう予算措置をするのか。

知事 県では私立の幼稚園の占める割合が大きいため、「預かり保育」などのやり方で子育て支援をやってほしいと強く思っています。「預かり保育」の補助を平成10年度から、「子育て支援活動」の補助を12年度から実施するなど施策の充実を図り、17年度予算においても前年度比17・6%増の1億9600万円を確保しました。来年度の予算措置は、現在作業中ですが、努力していきたい。

私立高校の授業免除拡充して
自井 私立学校の経常経費に占める経常費補助金の割合は、平成15年度は38・3%、16年度は35・0%。知事はこれまで再三、私学助成については精一杯努力すると発言されているが、18年度は、この割合をどうするのか、目標はあるか。
知事 明確な目標はありませんが、補助の水準を見る際の一つの指標ではあると認識しています。来年度の私学助成は先程も申しましたが、現段階では具体的に申し上げられませんが、最大限の努力をしていきたい。

自井 保護者負担の格差是正を推進するためにも、私立高校授業料減免事業補助を拡充する必要があると思うがどうか。
総務部長 平成10年度は対象者346人、補助金額で7369万円であったのに対し、16年度は1119人、2億3587万円と増加。本県では生活保護世帯や住民税非課税世帯など真に経済的に困窮している世帯を対象に授業料補助している3分の2という高い割合で補助していますので、ご理解をいただきたい。

自井 県は専修・各種学校に対する経常費補助金を引き下げ続けているが、反対にもっと引き上げるべきではないか。
総務部長 高校生と同じ学齢を対象とした高等課程は従来から高校と同じ伸率です。一方、他の課程の各種学校は、国と同じ18歳以上を対象に助成のない都府県もあることから、補助単価を引き下げてきたところです。18年度は今後の予算編成作業の中で検討していきます。

要望 私学助成については、経常的経費に占める経常費補助金の割合についても着目して、最大限度検討していただきたい。専修・各種学校の教育は生活衛生にも深くかかわっているため、その公共的な役割を踏まえて検討してほしい。

うすい正一県議プロフィール

経歴

- 昭和50年1月 千葉市検見川町生まれ
- 平成9年3月 日本大学文理学部卒業
米オックスフォード
アカデミー修了
- 平成14年10月 衆議院議員秘書
- 平成15年4月 県議会議員選初当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 生活衛生適正化審議会委員
- 自民党県連 県民運動本部委員

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

うすい正一後援会

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2
TEL 043-244-0033
FAX 043-244-2200

メールもお気軽に、ホームページも開設しています。 E-mail usui@shoichi.info URL=http://www.shoichi.info

